

北区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
北区交流まつり2019		北区交流まつり実行委員会			
事業目的	事業内容	活動指標	H29	H30	R1
北区内に住む人々や働く人々などが集い、まつりに参加することを通じて、相互の連帯感を強め、まちづくりへの参加意識の高揚を図るとともに、相互の交流と親睦を深め、地域の発展に寄与することを目的とする。	北区15校区の模擬店出店・歌や踊りのステージ、子どもコーナー(ふわふわ・ミニSL)、お茶席、各種団体出展コーナー・警察・消防車両の展示などを行う。また、「北区健康のつどい」を同時開催する。	来場者数(人)	30,000	33,000	35,000
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 住民と協働して実施することで、まちづくりへの参加意識の高揚を図るとともに住民相互の交流を深めることができる。	◎ 北区自治連合協議会と北区長で構成された実行委員会が実施しており、準備段階から多くの住民がボランティアスタッフとして運営に関わっている。	◎ 堺市や他県の特産品販売を行う「地域特産市」など出展内容に毎年趣向を凝らしている。	○ 住民と協働して実施するにあたり、専門の部会を設置し、各々で会議や準備を行うことにより、効率的な運営が実現できている。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 様々な団体に関わる大規模な事業であり、円滑な運営を図るため、区が事務局を担うことは適当であり、自立発展ではなく、住民との協働を推進していくべきである。	◎ 当日は幅広い世代の来場者で賑わい、盛況のうちに行事を終えることができた。事前の調整やスタッフ同士の連携により、目立ったトラブルや事故もなく円滑な事業実施ができた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	北区交流まつりは19回目の開催となる北区最大の行事であり、また、企画運営に多くの区民が参画し、協働で運営する事業となっている。区民が集い、交流できる機会として次年度以降も継続していくべき事業である。				